引きこもりへの法制化実現で
- 全国協力して国の総合（包括的）支援を獲得して行こう！
- 病理と非病理を識別して行こう！

全引連ニュース
旅立ち
引きこもり
NPO 法人（内閣府認証）全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）代 表 奥山 雅久
第 49 号 発行日 平成 21 年 3 月 1 日 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 1-3-3
（隔月発刊） FAX 048-758-5705 ホームページ http://www.khj-h.com

今年度の国の施策「ひきこもり地域支援センター」開設へ向け 血の通った施策 とすべく新事業スタートへ！官民協働

全引連ＫＨＪ設立10周年記念事業
「一般社団法人 ひきこもり支援相談士認定協議会」発足
◆ひきこもり支援相談士 養成講座を通信発売へ 本年４月より

本部理事長 奥山 雅久

新年度より発進し出す国の施策に向け、それへの対応自治体情報が少しづつ入り始めております。

一方、対応ネットワークに繋げる**「ひきこもり地域支援センター」**が全国各地にできたとしても、**それらへ繋げる、対応する一定レベルの支援相談員を全国的に養成することが急務であります。**

既に内閣府主導で打ち出されているアウトリーチなど、多くの支援相談員が、「若者サポートステーション」でも暫時育成（来期は20箇所／１００数箇所中）の施策が予算化され出してきました。

全引連ＫＨＪでは、これの露払いとして、新事業推進委員会（部会）と本部が協力して**「一般社団法人 ひきこもり支援相談士認定協議会」を設立申請しました。**

同事業を**通信講座**として発売してゆきたく存じます。国の施策の「地域支援センター」「若者サポートステーション」「ＫＨＪ各地区会」等の事業推進を補完する意義でも大切な事業かと存じます。

関係の皆様にはご理解、ご支援を宜しくお願い致します。

お問合せ・申込 **ひきこもり支援相談士認定協議会**

http ： //www.khj-hsc.org

次ページの全国調査速報にもありますように支援相談員として経験者、家族が、人気上位です。

養成講座は広く一般へも告知して行きますが、全国地区会での有志の講座受講を願い、特に会員特典を設けました。ふるっての受講をお勧め致します。

※（関連記事第２面に掲載）

ひきこもり支援相談士養成（通信）講座 合格者：認定証発行

講座教材仕様
- **教本数冊**（全国関係専門家動員）
- **教本に対応したＤＶＤ３巻**
- **資料集**
- **問題集**

一式を通信講座（発売）し、半年単位で基準レベル取得者を認定し、関係機関、ＫＨＪ各地区会等へ全国的に「ひきこもり支援相談士」を紹介配置を目指しております。

発売開始時期
本年４月から発売開始予定

啓発告知方法
- 全引連ＫＨＪ本部ホームページバナー、全国機関紙「旅立ち」掲載
- 「ひきこもりサポートナビ」のホームページにバナーアップ
- マスメディア等で告知等
- 厚労省「引きこもり関連施策推進チーム」へ紹介予定
- 厚労省「キャリア形成支援室」＝ニート対策：「若者サポートステーション」へ紹介予定
- 連携他団体（日青協、全青協、ウィザス、第一高等学院、高野山真言宗本山など）に紹介

特典
- ＫＨＪ関係、提携団体には、会員受講者一名につき一万円の取扱い料支払い（この内、半分を取扱いの会、半分を受講者へバックするか等は自由です）

つきましては、全引連ＫＨＪの設立10周年記念事業としてスタートする当該事業です。

これへのＫＨＪ全国ブロック会長はじめ多くの地区会の絶大なるご協力をお願い致します。

全引連ＫＨＪ 本部
- 理事長 奥山 雅久
- 本部理事会

新事業推進部会
- 委員長 木村 榮治

「一般社団法人　ひきこもり支援相談士認定協議会」
構成：NPO 法人全国引きこもり KHJ 親の会・NPO 法人次世代育成ネットワーク機構

本機関誌は、全会員及び、関係国会議員、厚生労働省、文部科学省、地方自治体の担当課、更にマスメディア、専門家やその他の関係者に配布送付されます。

速報　ひきこもり状態に関する全国調査（第６次）

・徳島大学総合科学部人間社会学科境研究室・全国引きこもりＫＨＪ親の会　協働の全国 最新調査

第６回目の全国調査として、来年度より始めまる「ひきこもり地域支援センター（仮称）」に望む支援について家族 429 名、ひきこもり本人 83 名を対象に調査を行いました。

「ひきこもり地域支援センター（仮称）」に望む支援

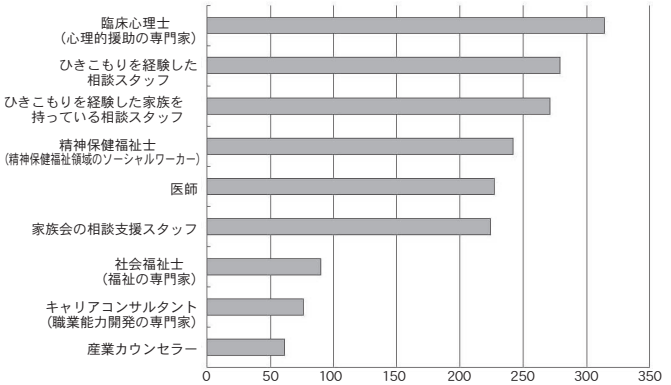


図　家族が求める専門性

家族が求める専門性としては，臨床心理士が最も多いことが示されました。これは，心理的援助の専門性を家族が求めているためと考えられます。又，ひきこもりを経験した相談スタッフ、ひきこもりを経験した家族を持っている相談スタッフを求めていることが示されました。このことは、専門性や資格よりも，ひきこもりのことを理解し真剣に取り組んでくれる人を相談相手として望んでいることが示していると考えらます。

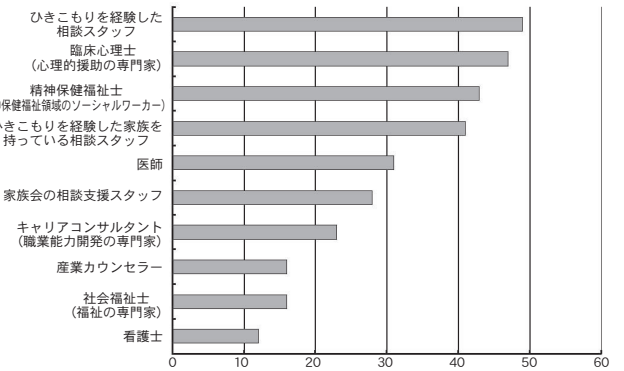


図　本人（当事者）が求める専門性

本人が求める専門性としては、ひきこもりを経験した相談スタッフが最も高いことが分かります。このことは，ひきこもりを自らも経験することで、ひきこもりのことをしっかりと理解してくれる人に相談したいという要望の現れといえます。また、家族と同様に臨床心理士への期待は大きいといえます。　これらのことを踏まえると，「ひきこもり地域支援センター（仮称）」のスタッフに求められる専門性として，ひきこもり本人や家族の心理的側面を理解していることが求められるといえます.

引きこもり支援に経験者や家族スタッフが人気上位!!

※（一面関連）記事

ひきこもり支援相談士養成講座のご案内

ひきこもり専門カウンセラー養成講座

～豊かな経験と人間愛で、ひきこもりの本人・家族に寄り添うひきこもり支援相談士の養成を目指して～

〇当養成講座開設の目的

ひきこもり問題に向きあう時、ご本人やご家族だけで解決しようとするのではなく、経験や実績を積んだ専門家の手助けが必要です。

現在、アウトリーチ（訪問支援）の実践が全国的にスタートしておりますが、その手法はバラバラで必ずしも一定の知識を得て対応しているとは言い難い状況です。真のアウトリーチ実践のためにより正確で適切な対応がされることが望まれています。当養成講座開設はこうした要望に応える試みの第一歩であると位置づけております。

当養成講座は、知識の習得はもちろんのこと、実践活動の場を通じ、ひきこもり問題に関する専門的な対応ができる、『ひきこもり支援相談士』の養成を目的として開設いたしました。

〇一般社団法人「ひきこもり支援相談士認定協議会」

一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会は、ひきこもり問題の正しい理解を世の中に広める活動や、ひきこもり問題の研究活動、ひきこもりご本人やご家族に寄り添い、共に展望を開いてゆく『ひきこもり支援相談士』の養成を通して、ひきこもりのご本人やご家族が笑顔で安心して暮らすことのできる社会作りの推進を図ることを目的に下記の２つの団体が協力し、発足しました。

構成団体　◇NPO 法人全国引きこもり KHJ 親の会
　　◇NPO 法人次世代育成ネットワーク機構

〇ひきこもり支援相談士へのステップ

ひきこもり支援相談士養成講座では、教本、資料集、教材 DVD 全３巻（教本・資料集対応）、を使用して豊富な専門知識の習得を目指していただきます。また、問題集等で過去の事例演習を行なうことにより、今後の実践に向けてスキルアップが期待できます。

◇受講方法

講師の講義内容が収録された DVD は教本・資料集に対応しているので､DVD を見ながら教本･資料集を使って学習を進めていきます。また、当養成講座は通信講座ですので、課題の提出はインターネット、郵送で行ない、場所・時間を問わず、ご自分ペースで学習できます。

◇受講期間

受講期間お申し込みから６ヶ月間となっております。受講期間内に課題の提出をしていただき、基準に達した場合、合格となり、認定を受けることができます。(受講期間の延長については、別途ご相談を受け付けます)

◇受講料

３５,０００円

・お支払い方法はクレジット決済・コンビニ決済・銀行振込・代引をご用意しております。

・ＫＨＪ親の会様の会員様につきましては別途割引制度がございます。

〇資格を取得だけでは終わらせないキャリアアップ支援

◇当協議会認定証発行後、全国引きこもり KHJ 親の会様各支部、その他各機関、団体、家族会などの相談員として実践活動の場所のご紹介を致します。　**お問合せ**　TEL 0123-42-0500 FAX 同 -0557

URL：　http ： //www.khj-hsc.org

引きこもり KHJ 兄弟姉妹の会の問合せ先

引きこもり KHJ 兄弟姉妹の会
代表発起人 安下 真一
FAX03・5391・6782(安下)
Ｅメール：yasu.1204@ab.auone-net.jp

沖縄県
若者自立塾
社団法人 日本青少年育成協会
http://www.jyda.jp/

「大検」は「高卒認定」に進化！
ひきこもりでも自宅からウェブ学習で
１年以内に高卒資格が取得できます！
高卒スーパーゲットコース
第一高等学院 www.dai1kotto.net

引きこもり高年齢化時代が始り出している

支援相談・中間施設・医療の後の福祉を考える

つい最近、KHJホームページ「情報掲示板」をきっかけにこんなやりとりがありました。さすが47歳は〝おばさんですが、せめて35才前後に焦点を当てたカウンセリング対応〜事例収集も必要でしょう。（調査部会）

送信者：K
宛先：S氏 fm3wb2-s@knibiglobe.ne.jp
送信日時：2009年2月13日 10：37
件名：愛知に住む引きこもり暦30年（47歳）のおばさんです。情報掲示板見ました。

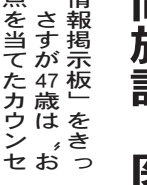
私は今年47歳になります。父は去年亡くなり、今は母の年金だけで暮らしてます。私が今までにした仕事は短期間のアルバイト・内職程度です。

ほとんど家で家事をしていました。若い時から対人恐怖とか摂食障害とかいろいろありまして社会へ出るのが億劫になりました。

このまま行くと母が亡くなった後、生きていくのは難しいかなと思い始めています。

最近のご時世・この年でもうどうにもならないとは思いますが、何か社会へ出る良い方法があれば教えてください。

ご返事



Kさんへ

実は掲示板にこの記事を書いた私も愛知県内に住んでいます。40歳過ぎた引きこもりの男性の父親です。もうすぐに74歳になります。掲示板への反応投稿有難うございました。

Kさんのご苦労、悩みは身にしみてよく分かります。同じような境遇の人は多く、Kさん一人ではないと思います。確かです。

もし、よかったら勇気を出して、下記のサイトに相談メールされるか、県の精神保健福祉センターに電話で相談を申し込まれたらどうでしょうか。

私には経験があります。粘り強く問題提起し、訴えることです。

貴女の場合は、地域のソーシアルワーカーなどの相談・支援を受けたり、近い将来のこと（例えば、生活保護や介護）などについて社会福祉の機能を教えてもらっておくことも、大いに安心になると思います。世間体などがあろうかと思いますが、一人で悩まないで、相談機関に繋がっていることが大事と思います。

名古屋在住の者

親なきあとが心配、その前におこる、「ひきこもり」扶養と介護者の高齢者福祉問題・・・を考える・・・

青少年育成大綱（今年、5年振りに定期改定）にはるか先行する現実・・・。

〈「ひきこもり」と二人暮らし問題〉

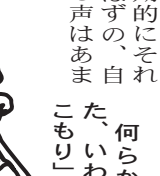
「ひきこもり」の子と二人で暮らす家庭で現実に起こっています。KHJ親の会の統計でも約10％が片親となっています（多くは父親が先に逝く）。

その1： 親が急病になったが「ひきこもり」の子は即時に救急車を呼ぶことができなかった。そのときはなんとか、自分で救急車を呼ぶことができて事なきをえたが、対策として、以後、携帯電話の短縮ダイヤルのトップに119番を登録して肌身離さず持っている。

その2： ひとり住まいの高齢の親が、独居老人として緊急電話のサービスを受けていた。その後、都合で「ひきこもり」の子と同居することになったが、独居老人ではなくなったため、緊急電話サービスは打ち切られた。携帯電話は使ったことがないし、どうも心配だ。

〈親亡き まえ 問題〉〜「ひきこもり」者を扶養・介護している高齢者の福祉問題

「ひきこもり」家族会では毎度「親亡きあと問題」が繰り返し語られます。それを聞いて、子を思う親の気持ちの尊さに感銘を覚えます。でも、時期的にそれより前に起こるはずの、自分の身を心配する声はあまり聞こえてきません。多分、皆さん、自己犠牲を厭わない、誇り高い方、遠慮深い高潔な方々ばかりなのでしょう。「親亡きあと問題」に対する、これまでの障害者福祉分野の運動のモットーは「親亡きあとでは遅すぎる。生きているうちに自立を」です。いわゆる「ひきこもり」分野でも、当事者本人に対して一層の社会的支援を望むと共に、こうした「親亡き まえ問題」についてもあまり遠慮せずに社会の理解を求めてもよいのではないでしょうか。



〈扶養問題〉

民法の規定に従って親子は相互に扶養義務を負っています。しかし、「ひきこもり」の子は就業できないことがほとんどで、実際は、高齢の親が子を一方的に扶養しています。親が年金生活者の場合、もともと、夫婦2人分として設計された老齢年金を3人で分かち合って暮らしています。片親となったときは、1人分の老齢年金を2人で分け合って暮らさなければならず、家計が一層苦しくなっています。

〈介護問題〉

何らかの病理性をもった、いわゆる真性の「ひきこもり」の人は、健常者に比べて、日常生活が不自由であるということから、実質的な障害の状態にあると言えます。障害の質、程度は介護保険あるいは障害者自立支援法の障害程度区分を用いて評価することも可能です。本人ができない部分については親が介助または代行することになります。生活の不自由さは、おもに対人関係と外出に関する部分に起こり、いわゆる地域生活障害と呼ばれている部分に目立ちます。例えば、日常の買い物、ごみ出し、回覧版、行事参加等の社会生活が困難となります。

家庭内の生活障害については、食事、排泄、入浴の身体的介護といった基本的な部分にまで至る例はあまり聞きませんが、食事作り、清潔・清掃、健康管理には問題が多く、介助が必要な場合がすくなくありません。特殊事情として、親と同居していても、親とのコミュニケーション（会話）が全くできなくて、孤立する人がかなりあり、このような場合は特に、外部からなんらかのアプローチが望まれています。

〈高齢者福祉問題〉

「ひきこもり」は障害者と認められておらず、健常者として取り扱われます。そのため、ひきこもりとの2人暮らしの高齢者は、一般に一人暮らしの場合より適用される福祉のレベルが下がります。実際には経済的にも、日常生活の生きにくさでも、一人暮らしより負担が重いにもかかわらず、なのです。

（インターネット）自宅学習で高校卒業。

ウィザス高校の特長

◆インターネットを利用した学習支援システム
◆全国（47都道府県）からいつでも入学可能
◆心のふれあいを大切にした教育を実践
◆スクールカウンセラーによるメンタル面のケアも充実

ウィザス高等学校
WITHUS HIGH SCHOOL
[広域通信・単位制]
0120-130-530
茨城県高萩市 赤浜2086-1（本校）
各地にキャンパス（学習センター）があるので、全国どこからでも入学することができます。
〜ウィザス高校の詳しい内容はホームページで〜
http://www.with-us.ed.jp

社会不安障害総合情報サイト

SADとは"Social Anxiety Disorder"の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよそのSAD（社会不安障害）をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの？
全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL：http://www.sad-net.jp/

無　料

引きこもり電話相談
☎ 03-5319-1430
火・木・土 PM1:00〜5:00
第4土曜・祭日休み
KHJ東 東京「楽の会」

ルポ「ひきこもり」
価格800円
FAX 048(758)5705
行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。
推薦のことば　精神科医・医学博士　中垣内正和

FAX 048(758)5705

ひきこもりサポートナビ

当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ（主宰の㈱シンクプロジェクト）が主要メディアで紹介され会員が急増中。

URL：www.hikikomori-navi.com

地区会便り

KHJ静岡県「いっぷく会便り」より
「気」について…「こころ」の重力（質量）

昨年12月の学習会の時に、高橋弘子先生の話の中に、「感情は質量を持つ。当事者の思いをベクトルで現したい。これらのことを物理の方法で現したい」というような内容がありました。意味がよく分かりませんでしたが、**感情や心の動きとエネルギーのことなのかなとも思いました。**

最近、ドクター帯津良一さんの「ときめき養生食」という本を読んでいる内に、先ほどの内容に何か関係があるのかもしれないと思いましたので、ごく一部ですが紹介してみます。これからの養生は生命に焦点を合わせます。ところで生命とはなんでしょう。

私達の体内にも様々な「場」が存在します。電磁場もあれば重力場もあります。その上にもっと生命に直結する。例えば、中国医学で言う「気」のようなものが分布して「場」をつくっていることは十分に予想できることです。しかし、気という存在がまだ実証されていない現在、「気場」というのは少し早いような気がしますし、ほかにもまだ知られていない物理量が存在する可能性もあります。…略

「気」は中国4千年の歴史がありますが、まだ正体をつかめていないのです。中国や欧米や日本でも研究している人は世界にたくさんいるのですが、本当のところは掴めていません。

でも、「気」に付随した物理的な性質はキャッチできています。光が手のひらから出るとか温度が高まるとか、遠赤外線が出ると言うことはわかってきましたが、では、遠赤外線や光がイコール「気」かというとそういうことではありません。遠赤外線が「気」なら「手かざし」をするより、遠赤外線の機械を購入して当てた方がよいことになりますが、それでは何の効果もありません。しかし、今はつかめていませんが、将来はつかまえられるだろうということを人々が確信するようになってきています。

私自身は、「気」は、何か粒子かエネルギーではないかと思っています。素粒子が次々とわかってきたように、「気」も素粒子と同じレベルの彼方でわかるかもしれません。それを期待しています。・略「本部注釈：岐阜県山中の世界的高名な物理学施設スーパーカミオカンデでは、素粒子の研究が始まっています」

そこで、先ほどの「気場」などのような存在を全部ひとまとめにして「生命場」と呼ぶことにしました。この生命場のエネルギーが生命です。生命とはエネルギーなのです。この生命のエネルギーを日々高めていく、自らの努力で日々高めていくのが、これからの養生ということになります。

生命のエネルギーを高める源は、「心のときめき」であるとベルグソンは説いています。心のときめきといったって、何も難しいことではありません。ときめきの芽は、仕事、思索、交遊、旅、酒、太極拳といたるところに散在しています。とりわけ機会の多いのは三度の食事ではないでしょうか。・・・・・略

以上、本の中のごく一部の内容です。ものの考え方の一つの例として受け止めていただけたらと思います。

（例） ある新聞記事の「今、この時を楽しむ」鍼灸師より思春期の子には、どう接したらいいんでしょう。

口をきかなくなると、私の育て方が悪かった、と思ったりするけれど、反省してもダメ。普通に接して顔を合わせた時のひと言が大事。「寒かったねえ」でも「おなかすいたでしょう」でもいい。明るい声音で声をかける。最初は何の反応もないけれど、無視されてもいいの。続けるうちにこの家に居場所があるんだと感じてくれるようになる。

もう一つ、落ち込んだ時にはいい上がる方法は「明日は生きていないかもしれない」と思うこと。本来、命とはそういうもの。そう思うとつんのめってた気持ちが緩んで、そうだ、悩むエネルギーを今日楽しめることに使おうって。今日しか見られない雲、夕焼け。じゃれる猫。息子が薦めてくれた本が今の私の心境にピタッと合うとか。小さな事でも、とてもうれしい。生きることも結構いいんじゃないか、と思えてくる。…略

KHJ Family 月例会に参加して気を楽にしたり情報交換しませんか

特定非営利活動法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）

☆親の会（月例会）問い合わせ先（北海道～沖縄）

42支部6,620家族と14の準地区会で8,130家族

○全引連KHJ本部（全国） NPO法人
〒339-0057 さいたま市岩槻区本町1-3-3 ららうんじ内 FAX 048-758-5705 奥山 雅久

○KHJ埼玉「けやきの会」（埼玉県、群馬県） 携帯080-3176-6674 NPO法人
〒331-0805 さいたま市北区盆栽町190-3 TEL・FAX 048-651-7353 田口 ゆりえ

○KHJ東東京「楽の会」（東京都、）
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 TEL 03-3918-0655 FAX 03-3918-7873 池田 佳世

○KHJ西東京「萌の会」（東京都、）
〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-19-4 FAX 03-5397-5372 井手 登 井手 宏

○グループ コスモス（東京都等） TEL・FAX 03-3728-4488
〒145-0066 東京都大田区南雪谷2-11-5 石尾 瑛子

○KHJ東海なでしこの会（愛知県、三重県、岐阜県等） NPO法人
〒483-8337 愛知県江南市藤ヶ丘4-1-1 江南団地78-106 FAX 0587-52-4511 伊藤 進

○名古屋オレンジの会（愛知県、三重県、岐阜県、近隣県） NPO法人
〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7 チサンマンション椿町304 TEL・FAX 052-459-5116 鈴木美登里

○KHJ北陸会（石川県、福井県）例会会場 石川県金沢市県立女性センター
〒924-0024 石川県白山市北安田町1381 事務局

○とやま大地の会 TEL 090-3768-1733・FAX 076-429-5886
〒939-2455 富山県富山市八尾町大玉生秋「野良里」内 井波 純子

○京都オレンジの会（京都府、奈良県、等）TEL・FAX 075-752-0189 NPO法人
〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東六丁目分木町74-3（2F） 稲垣 緑

○KHJ「つばさ友の会」大阪 TEL・FAX 072-844-0399 （NPO法人ISIS大阪）
〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-3-1 マインドビル1F 事務局

○大阪家族会「虹の会」
〒592-0002 大坂府高石市羽衣2-4-20 石神記念医学研究所内 原 治子

○神戸オレンジの会（兵庫県、） NPO法人
〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-2-22 TEL 078-515-8060 松井 勝也

○情報センターふきのとう姫路（兵庫県） TEL 090-5046-7134 FAX 0792-24-5259
〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6 櫛橋 行雄

○KHJ福岡県「楠の会」（福岡、佐賀、長崎）TEL 090-8222-7403
〒810-0003 福岡県福岡市中央区春吉1-7-18 タケウチビル2F 092-731-3091 吉村 文恵

○KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会 TEL・Fax 0887-55-1255
〒781-5205 高知県香美郡野市町みどり野東1-33 竹中あおい

○岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会（岩手県、等） NPO法人
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町19-8 TEL 019-605-8632 FAX 605-8633 三宅 均

○KHJ宮崎県「楠の会」 TEL・FAX 0985(31) 1375
〒880-0001 宮崎県宮崎市橘通り1-4-3 井上ビル2F 植田美紀子

○KHJ宮城県「タオ」TEL・FAX 022-293-8355 NPO法人
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番 みやぎNPOプラザ内 佐藤 傑

○KHJにいがた「秋桜の会」TEL 090-4017-2889 NPO法人
〒950-0167 新潟県新潟市江南区五月町1-2-9 TEL・FAX 025-382-6912 三膳 克弥

○KHJ熊本県「楠の会」（熊本、佐賀県、長崎県）TEL 096-322-3548 FAX 096-322-3787
〒860-0072 熊本県熊本市花園7-2435-12 武井 敬蔵

☆各サークルの月例会（月1回）の役割 ○同じ境遇の親同志での心おきない話し会い。自分達だけが引きこもり（すがり付、とり付）で苦しんでいるのではない、仲間が居るのだという実感。孤立感からの脱却→親の心の癒し→本人の言いつくせぬ気持（心）に対応でき る良好循環へ ○問題に対する情報の交換（施設、専門医、カウンセリング、薬等の）○先輩会員の沢山の例を知る今後の自分達のこの問題に対する対応、心構えをつくってゆく
☆引きこもりKHJ親の会の役割 ○情報の収集と検証（医療施設、専門機関、専門家、各種行政、マスコミ）○不登校→引きこもり→すがり付→とり付の流れを、早い段階で対応すべく世間に警鐘をならしてゆく
○他県の同じ趣旨の会を立ち上げたり連携をとってゆく→全国組織化○行政の対応や支援、制度化の対応を求めてゆく⇔（社会問題を起こしたり、本人の生涯に渡る永い状況は一家庭の対応を越えている）
○抜本的施設、「若者の居場所」「グループホーム」の設立と公的助成を

○KHJ青森県「アップルの会」TEL／FAX 0178-88-5297 事務局長
〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西5-9-1634 サンハウス内 川村 克彦

○KHJ岡山県「きびの会」TEL・FAX 086-482-3707 携帯090-7541-5263 NPO法人
〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島1160-1 佐々木正俊

○KHJ広島県「もみじの会」TEL・FAX 082-567-7740（平日090-8060-0054前川）
〒732-0056 広島県広島市東区上大須賀町1-6-701 藤岡 清人

○KHJ鹿児島県「楠の会」TEL・FAX 0993-38-0320 自宅TEL 0993-38-1421
〒899-2505 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉550-8 宮之脇 克己

○KHJ静岡県「いっぷく会」 TEL・FAX 054-245-0766
〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町25-2 中津川舜美

○KHJ香川県「オリーブの会」TEL・FAX 087-843-9877 NPO法人
〒761-0104 香川県高松市高松町2574-9 川井 富枝

○山形県「から・ころセンター」 TEL／FAX 0238-21-6436 NPO法人
〒992-0026 山形県米沢市東2-8-116 伊藤 正俊

○KHJ福島県「MHPC」 TEL 024-943-1678 FAX 024-943-1686
〒963-8813 福島県郡山市芳賀2-21-10 矢吹 孝志

○「いばらきの会」 FAX 0297-42-7751
〒300-2706 茨城県常総市新石下4503-1 朋友内 菊地 芳明

○KHJ北海道「はまなす」 TEL・FAX 011-631-0981
〒064-0824 北海道札幌市中央区北四条西26丁目3-2 田中 敦

○KHJ栃木県「ベリー会」TEL 090-4247-2829 NPO法人（申請中）
〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町4077 斉藤三枝子

○KHJ神奈川県「虹の会」TEL／FAX 045-823-5464
〒244-0814 神奈川県横浜市戸塚区南舞岡4-5-16 鈴木 豊年

○KHJ徳島県「つばめの会」 TEL 090-7620-4625 TEL・FAX 0883-24-0507
〒776-0014 徳島県吉野川市鴨島町知恵島372-6 高橋 浩爾

○KHJ千葉県「なの花会」 TEL 090-8491-0971 NPO法人
〒267-0055 千葉県千葉市緑区越智町1701-275 藤江 幹子

○秋田県「かだれ会」 TEL 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134
〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢1-2 長信田の森心療クリニック（暫定）

○KHJ山口県「きらら会」TEL・FAX 0836-88-2681 NPO法人（申請前）
〒756-0862 山口県山陽小野田市須恵西2471-1 小林 攻

○滋賀県「グッドハート」 TEL 077-561-8759 FAX 077-567-1160 NPO法人
〒525-0034 滋賀県草津市大路1丁目4番大丸ソイビル202号室 加藤 日典子

○沖縄県 TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710 兼浜 保佳
〒901-1104 沖縄県南風原町字宮平212-3 沖縄県精神福祉センター相談課（暫定）

○KHJ大分県「大分若者自立支援の会ステップ」TEL 090-1163-8582 NPO法人
〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上3604-14 松本 太郎

○KHJ愛媛県「こまどり」の会 TEL・FAX 089-962-3946
〒791-2133 愛媛県伊予郡砥部町五本松212 澤田 和廣